

独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター附属高崎看護学校  
2020年度学校関係者評価委員会議事録

日時：2021年3月23日（火）15:30～

出席者：委員長：石原学校長

外部評価委員：渋川医療センター 萩原事務部長 林看護部長  
沼田病院 中澤事務部長 古見看護部長  
高崎総合医療センター 水江看護部長

学校職員：齊藤副学校長 田中事務長 菅山教育主事（実習調整者）  
坂下教育主事（カリキュラム担当）

事務局：小林事務主任 宮原教員（カリキュラム担当） 平出教員（実習担当）

議事

1. 2020年度教育報告

1) カリキュラム評価

(1) 講義評価総括

単位認定試験結果の平均は70～80点以上であり、学習目標は達成できた。COVID-19による影響で、多くの授業がオンラインと対面を組み合わせた授業方法となったが、学生による講義評価の平均は昨年度より上昇した。学習環境に応じて授業方法を工夫した結果であると考えられる。

(2) 実習評価総括

オンラインや学内での実習となったクールもあったが、科目評価結果の平均点は全て80点以上であり、目標は達成できた。臨地実習とオンライン・学内実習を比較すると、学生による実習科目評価は臨地実習の方が高い。実習環境に制限が生じた場合でも学生の学習目標が到達できるよう支援していく。

2) 卒業時のカリキュラムに関する満足度調査

平均3.3、昨年より大幅に上昇した。看護実践者育成について専門的な知識が身に付くことや、オンライン授業でもできる限りの工夫をし、講義や実習ができたことについての満足度が高かった。

3) 自己点検・自己評価

学校運営は例年通り概ね適切と評価した。主体的な学生の育成や看護教員能力開発プログラム運用システム化が今後の課題である。

4) 看護学校運営目標評価

教員ひとりひとりが看護教育能力開発プログラムに応じて努力した。今後も引き続き職員一丸となってよりよい学校づくりをめざしていく。

【審議事項】

- ・ COVID-19による感染管理をしっかりと行い、学生の行動制限等もある中、学生による講義評価の平均点が昨年より高く、満足度も高いことは評価できる。これらを参考として、引き続き感染対策の対応を実施して欲しい。
- ・ 卒業時のカリキュラムに関する満足度調査の平均は昨年度と比較して上昇しているが、教員に

対して改善を求める意見が気にかかる。大型校に移行して、学生数が増えたことにより生じる教員と学生、教員と教員のコミュニケーション不足に対する不満等の表明ではないかと思われる。限られた人数であることで教員のストレスなど非常に厳しい状況ではあるが、学生に寄り添える教育を引き続きお願いする。

## 2. 2021年度教育計画について報告

- 1) 教育計画、学科進度、実習計画
- 2) 講師一覧
- 3) 看護学校運営目標